

中小企業の経営改善および地域活性化のための取組状況

■ 中小企業の経営支援に関する取組方針

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」の精神のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを経営理念としております。

お客さまの経営課題に共に取り組むため、知識・ノウハウを蓄積し、的確なアドバイスやソリューション提案に努めてまいります。また、グループのネットワークを活かし、質の高いサービスを提供するとともに、地域金融の担い手として円滑な金融支援に努めてまいります。

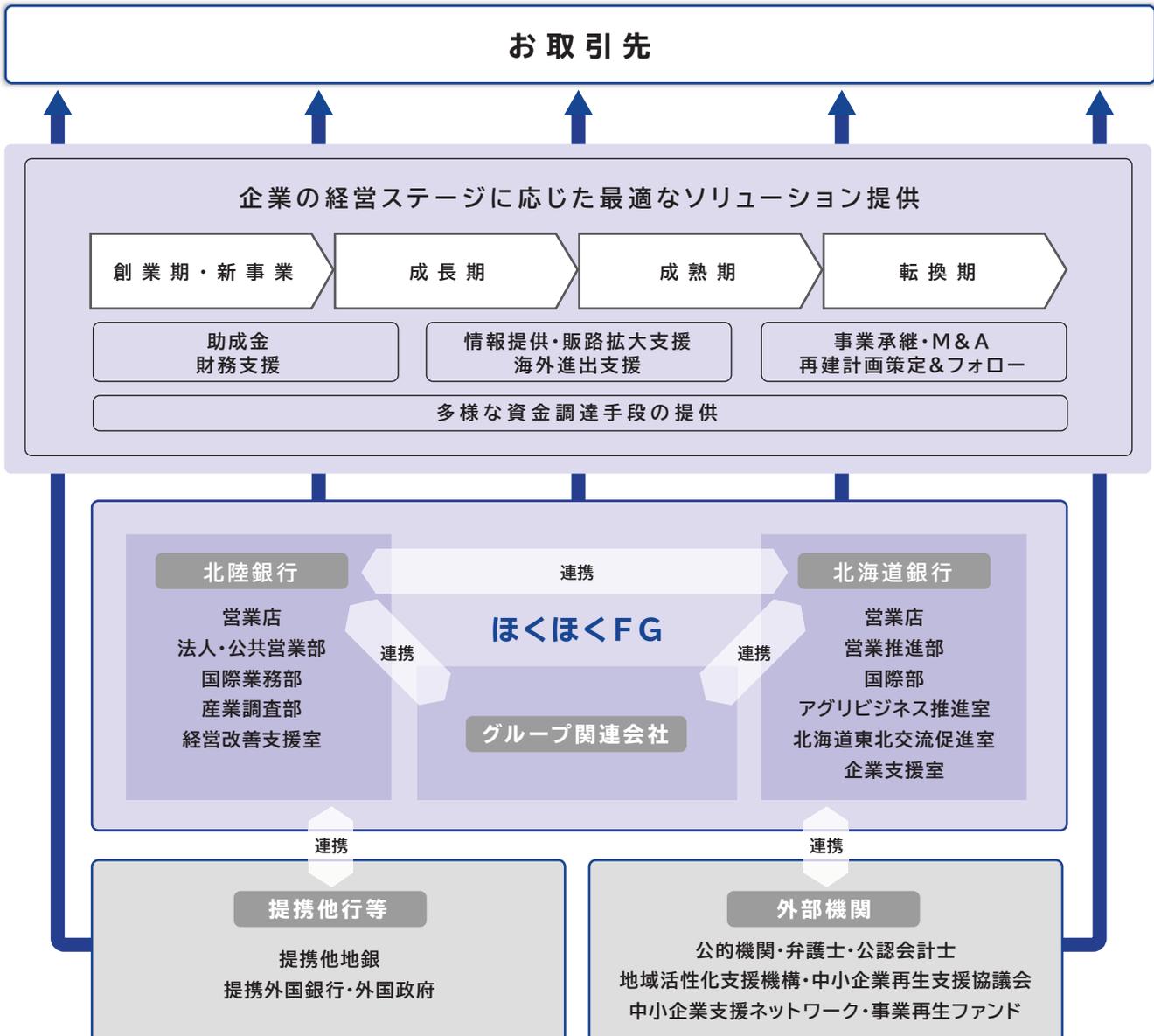
お客さまの経営支援を通じて地域活性化に貢献し、地域から親しまれ頼りにされる金融グループをめざしてまいります。

■ 中小企業の経営支援に関する態勢整備

ほくほくフィナンシャルグループでは、「経営基盤の強化」の取り組みの1つとして、中小企業の経営支援に取り組んでおります。経営改善支援取組先の選定、事業計画の策定と実績のフォローを北陸銀行経営改善支援室、北海道銀行企業支援室が担っております。また、営業力の向上にむけたお取引先への情報提供と販路拡大、海外進出支援に関するサポートを北陸銀行法人・公共営業部、国際業務部、産業調査部および北海道銀行営業推進部、国際部、北海道東北交流促進室、アグリビジネス推進室が担っており、事業承継、M&Aに

ついては、北陸銀行法人・公共営業部、北海道銀行営業推進部がそれぞれ外部専門機関と連携し、営業店とともにコンサルティングを行っております。また、各担当部・室では、お取引先に対する目利き力、コンサルティング力を持つ人財の養成に努めております。

経営の改善のための取り組みに関する計画・実績・進捗状況等については、各担当部・室より常務会・経営会議や取締役会に報告し、経営の指示のもとに諸施策等について改善やさらなる充実に図る態勢としております。



■ 創業・新規事業開拓支援の取組状況（平成25年度上半期実績）

当社グループでは、創業や新規事業の開拓を考えるお取引先に対し、制度資金やベンチャー向け投資ファンドなどの資金調達面からの支援および産学連携を通じたニーズの発掘、成長分野への情報提供を行っています。

<北陸銀行>

- 「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」の一つとして「ほくぎんビジネス創造プラットフォーム」を組成し、お取引先の経営革新計画の認定取得を支援。
- 産学連携に関し、大学との勉強会を開催したほか、ヒアリングシートを活用して大学の潜在ニーズを引き出し、産学双方の要求をマッチングさせることで新規事業の開拓を支援。
- 産業調査部内に再生エネルギー等の成長分野に対する担当者を配置し、営業店と本部が連携して案件組成についてのアドバイスを実施。
- 公的ヘルプデスクの活用により、お取引先の新規事業をサポート。

<北海道銀行>

- 北海道・各市町村の創業支援制度資金の利用を通じて金融面から創業を支援。
- ベンチャー向け投資ファンド「道銀どさんこファンド」、「札幌元気チャレンジファンド」を活用し、将来性のあるベンチャー企業を金融面から支援。
- 「道銀アグリビジネスファンド」を株式会社漁業成長産業支援化機構、北海道ベンチャーキャピタル株式会社とともに組成し、農業を核とした6次産業化による新事業の開拓を支援。
- 異業種から農業へ参入を考えるお取引先を対象に「道銀農業経営塾」を開催し、情報を提供。

■ 販路拡大・海外進出支援の取組状況（平成25年度上半期実績）

広域店舗網や提携外部機関とのネットワークを活用した商談会やセミナーの開催等を通して、お取引先の販路開拓や工場進出といった事業の拡大を支援しています。商談会では、テーマの絞り込みや事前相談などにより、お取引先にとってより有効なビジネスマッチングの機会となるよう工夫した取り組みを行っています。

また、海外行政機関や金融機関等との業務提携、海外駐在員事務所による情報提供を通じて、お取引先の海外進出支援や現地における継続的なビジネス展開の支援に努めています。

「食」をテーマにした商談会、セミナーを開催

<北陸銀行>

- 「北陸の『食』ブランド化戦略セミナー」を開催

平成26年度末の北陸新幹線開業に合わせ、北陸の魅力ある食材・商品の効果的なアピール、ブランド化をテーマに羽咋市役所および株式会社ぐるなびから講師を招き、セミナーを開催しました。

参加者数	78名
------	-----

- 第4回「とやま『食』の商談会 in 東京」を開催

富山県、公益財団法人富山県新世紀産業機構と共催し、「とやま『食』の商談会 in 東京」を開催しました。富山県に本社を置く食品関連企業がサプライヤーとなり、首都圏の有力バイヤーと個別商談を行いました。

出展企業数	25社
バイヤー	19社
商談件数	210件

<北海道銀行>

- 「北海道の『食』特別商談会」を開催

水産資源を中心とした、地域特性を生かした付加価値の高い加工食品の販路拡大を支援するため、スーパーや百貨店などのバイヤーを招いた商談会を3回開催しました。

北海道産の商品に対する関心は高く、今後も商談会を通じて地域の産業振興に努めます。

開催実績	4月釧路、根室 8月函館
出展企業数	39社
バイヤー	延べ18名
商談件数	153件

アジア進出に関する支援

<北陸銀行>

○中国、ASEAN進出に関するセミナーを開催

中国、ASEANに進出しているお取引先や進出を考えているお取引先に対して、国内および海外でセミナーを開催し、現地のビジネスに関連した情報を提供しています。また、セミナー後には、企業交流会を開催し、企業同士や提携機関との情報交換の場を提供しています。

開催回数(主催分)	6回
参加者数	延べ381名

<北海道銀行>

○「タイビジネスセミナー」を開催

タイ国大使館商務参事官事務所、カシコン銀行(タイ)および株式会社道銀地域総合研究所との共催で「タイビジネスセミナー」を開催しました。タイビジネスに関心をお持ちのお取引先に対し、タイ進出の可能性や成功のポイントなどについて情報を提供しました。

参加者数	105名
------	------

また、4月よりカシコン銀行へ職員を派遣し、現地情報の収集やアテンドなどお取引先の皆さまのお手伝いをしています。

欧州進出に関する支援

<北陸銀行>

○「ロンドン北陸物産展」を開催

6月10日～30日、イギリス ロンドンにある欧州最大の日本食取扱店「ジャパンセンター」にて物産展を開催し、欧州への販路拡大を目指す北陸3県の食品関連企業が出展されました。

出展企業数	6社
-------	----

お取引先およびジャパンセンターが行う実演販売を北陸銀行ロンドン駐在員事務所がお手伝いさせていただきました。

極東ロシア進出に関する支援

<北海道銀行>

○ロシア アムール州政府と覚書を締結

4月29日、アムール州政府と農業分野での協力促進を目的に覚書を締結しました。北海道とアムール州双方の基幹産業である農業および農業関連産業の発展に向け、寒冷地農業の研究や技術普及および農業関係者の交流などを支援していきます。

5月からは北海道銀行支援のもと、道内の農業者と企業がロシア農業者と共同栽培事業をスタートさせました。

○「ロシアビジネス勉強会」を開催

ロシアNIS貿易会より講師をお招きし、極東ロシアビジネスに関心をお持ちのお取引先に対し、ロシアビジネスの情報提供を目的とした勉強会を2回開催しました。講議後のディスカッションでは、北海道銀行の国際部、アグリビジネス推進室の実務担当者も交え、活発な意見交換が行われました。

開催実績	6月札幌 8月旭川
参加者数	49名

■ コンサルティング機能を高めるための取組状況 (平成25年度上半期実績)

<北陸銀行>

○「業界の達人養成講座」等を実施

お取引先の業界特性を深く理解し、よりニーズに合致した提案が行える人財を育成するために「業界の達人養成講座」を継続して実施しています。25年度上半期は、医療・介護、公的助成金の専門家に講演していただき、335名が参加しました。また、工場見学や各種融資関連研修を実施し、行員の目利き力向上に努めています。

<北海道銀行>

○「道銀ビジネスアカデミー」を新設

お取引先により的確なアドバイスを行うために、自分が補強すべき業務スキルを自ら考え、習得することを目的に、従来の融資関連研修に加え、短期集中型の業務研修「道銀ビジネスアカデミー」を新設しました。行員一人ひとりのレベルアップがお取引先の皆さまの成長につながるよう、努めています。

■ 経営改善・事業再生等の取組状況（平成25年度上半期実績）

専担部署や中小企業再生支援協議会などの外部機関を活用したコンサルティングによる経営改善の計画策定やその後の各種モニタリングまでフォローを行っています。

<北陸銀行>

- 中小企業再生支援協議会や外部機関・専門家との連携を強化し、お取引先の経営改善を支援。

中小企業再生支援協議会の活用 | 26件(完了5件、進行中21件)

- 「経営改善支援SS運動」と名付け、支店長や役員の帯同訪問を強化することで支店全体、銀行全体として経営改善を支援。

<北海道銀行>

- 中小企業再生支援協議会や外部機関・専門家との連携を強化し、お取引先の経営改善を支援。

中小企業再生支援協議会の活用	10件(完了5件、進行中5件)
認定支援機関の活用	3件(進行中)
経営サポート会議の活用	3件

経営改善支援の取り組み実績

(先、%)

	北陸銀行		北海道銀行	
	先数	比率	先数	比率
期初債務者数	12,564		3,704	
経営改善支援取組先数	551	4.38	271	7.30
再生計画策定先数	485	88.02	264	97.42
ランクアップ先数	34	6.17	10	3.69

※1. 先数、比率には正常先を含んでおりません。

※2. 金融円滑化の事後フォロー先として、北陸：1,522先、北海道：450先を選定しており、その計画策定率は北陸：98.16%、北海道：96.44%となっています。

■ 地域活性化に関する取組状況（平成25年度上半期実績）

<北陸銀行>

- 産学官金連携事業として商品化を支援
富山大学が所蔵する小泉八雲の蔵書を集めた「ヘルン文庫」の1つである「クレオール料理」のレシピを再現した富山大学の学食「ヘルンランチ」を広く紹介したいという同大学の発案を受け、商品化の橋渡しを行いました。
- 北海道と連携協定を締結
北海道における産業振興に向けた取り組みを共同で展開し、北海道経済の活性化を図るため、北海道と連携協定を締結しました。これを記念して9月に香林坊大和が主催した「小樽物産展」に北海道、小樽市、小樽物産協会のご後援いただき北陸銀行も共催として参加しました。
- 地元大学で寄付講座を実施
地域の次世代を担う若い世代へ教育を通じた長期的視野での地域貢献として富山大学、金沢大学、金沢工業大学で寄付講座を行いました。経済や金融についての知識を幅広く習得する機会を提供できればと継続して取り組んでいます。
- まちづくり活動への支援
中心市街地における賑わい創出への協力として、「てるてる亭」(富山市)や美術館「ギャラリー・ミレー」(富山市)の支援をはじめ、営業店のある各地域で「まちづくり」を支援しています。

<北海道銀行>

- 道内四高専「モノづくり企業体験交流会」を開催
学生が企業への理解を深めることで就職の機会を広くもてるように、企業にとっては優秀な学生の確保へと繋げてもらえるようにと道内四高専との連携協力協定に基づき、「モノづくり企業体験交流会」を開催しました。27名の学生が道内のモノづくり企業5社を訪問し、経営者の生の声に触れ、モノづくりの現場を体験しました。
- 旭川市と連携協力に関する協定を締結
旭川の地域経済活性化を図ることを目的に連携協定を締結しました。この協定に基づき、マーケティングおよび販路拡大、海外事業展開、企業誘致の推進等について連携・協力を行っていきます。
- 「夏休み親子で銀行体験」を道内9都市で開催
小学生とその保護者を対象に「夏休み親子で銀行体験」を道内9都市で開催し、270名の皆さまにご参加いただきました。次世代育成支援の一環として、銀行の仕事を通して金融経済に慣れ親しんでいただくことを目的に継続して実施しています。
- スポーツ、文化・芸術における支援
女子カーリングチーム「北海道銀行フォルティウス」への支援や継続開催している「ライラックコンサート」をはじめスポーツ、文化・芸術を通じた地域活性化に取り組んでいます。